

始める前のお願い

このパワーポイントに使われる子どもの写真及び動画は
東京家政大学ナースリールームと一般家庭の
許可を得て使用しています。
写真の撮影や保存はご遠慮ください。

2020/9/3



1

2020年神奈川県私立幼稚園連合会
(on-line) 保育セミナー 1

これから求められる 乳幼児の保育と 保育者の専門性

～過去・現在・未来を見通して保育を考える～

井桁 容子

乳幼児教育実践研究家
非営利団体コモノミカタ代表理事

2020/9/3



2

<コロナ禍の子どもと保護者の状況>

Cedep (東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター)
2020年「新型コロナウイルス感染症流行に伴う乳幼児の成育環境の変化に関する緊急調査」
速報版 (結果の要点) VOL.1 より部分抜粋

- ★ 調査期間は4月～5月。解答者は、関東（東京、神奈川など）が多かった
- ・子どもの育児法、接し方が変化した・・・7割。精神的健康状態が良好でない**と半数以上**。
- ・子どもの運動不足、体力低下を心配。野外活動の減は**4歳以上がかなり減**。
- ・就学前の子どもの**動画視聴増加**
- ・**スクリーン・タイム** 5歳以上の約半数が**1日あたり2時間以上増**
→ 保護者の精神的健康状態がよくない
- ・子どもが**訳もなく不機嫌 3割以上**
- ・子どもがいつもよりも大人に**くっつく、甘える。約半数**。
- ・起床、**入眠が遅くなる傾向**
- ・2歳以上で**お菓子、ジュースの量が増加**
- ・**自宅調理、食育、共食が増加**
- ・**読書、創作、表現活動も増加**

2020/9/3



3

<マスクをしたまま保育をすることについて>

2020年6月13日保育の質を考えるシンポジウムより
遠藤利彦（東京大学大学院教授・発達保育実践政策学センター長）× 井桁

<保育者の心配、マスク保育の悪影響>

- ・表情や口元が見せられないので伝わりにくいのでは？
- ・保育者がマスクを外すと泣くようになった
- ・マスクが怖いから登園を嫌がる
- ・子どもがマスクを管理しきれない
- ・熱中症

<心理学の実験によると>

- ・赤ちゃんは人の顔や声を好む（表情豊かで優しい調子）
- ・映像よりも実際の人の方を好む
- ・人間と動物の目の違い

🗨️口元が笑っていても目が笑ってない？！



4

<マスクをしてもしなくても大切なこと>

1

温かく受容的、応答的に関わることは変わらない。

2

○×で考えるのではなく、子どもの年齢や状況で判断していく

3

保護者との信頼関係と共通理解を心がけ、共に考えていく

2020/9/3



5

毎日、人生で初めてのことに出会っている子どもたちです。

子どものそばにいる保育者の皆さんは、

どのような心持ちで、どのようなまなざしを子どもたちに向けていますか？

2020/9/3

6



たくさんの困った状況がありますが、

周囲のせいせずに、

とりあえず、今の自分にできることを考えてみましょう。

その一番の近道が

自分自身の子どもへのまなざしの確認と振り返りです。

2020/9/3

7

◆日本の乳児委託保育の歴史の中から

古代593年	悲田院・・・聖徳太子が四天王寺に建てた 貧窮者、孤児等收容
730年	施業院・悲田院・・・光明皇后 疫病が流行した
平安時代	里親制がとられる。*乳児の保育には乳汁の問題
1555年	キリスト教が伝えられはじめ、ルイス・デ・アルメイダが乳児院をたてて孤児救済。栄養は乳母と牛2頭 *乳児たちが病気になる1年で廃止
江戸時代	生活困窮、子捨て、人身売買 *佐藤信淵（さとうのふひろ）1769～1850年 幕末思想家 保育施設、福祉教化期間の必要性力説したが実現せず。
明治時代	「子守り学校」⇒子守りのために学校にいけない児童のための学校 *乳幼児保育のための施設を備えた。
1900年	二葉幼稚園（保育園）⇒東京にスラム幼児対象：華族女学校幼稚園・野口、斎藤の二人で設立
1919年	公立託児所 大阪2か所、翌年東京
1921年	東京市託児所保育規程
1947年	救済的性格を脱し階層を超えて一般化 *生命の保障がおぼつかないと拒否
1965年	保育所保育指針刊行
1967年	山下俊朗（心理学者）が東京家政大学にナースリールームを開設

2020/9/3

8

1930年 ある農村の様子

(赤子が) 坐ることができて、這うことのできないうちは屋内でも屋外でも楽であるが、這い回るようになると策の施しようがない……

一人の這い児はへり壁の節穴に帯の一端を通してつなぎ。3・4歳くらいの児は……外に遊びに出るので、大黒柱に帯でつないで、小さい子の守をさせた……この二人の子どもを家に残して、戸口を閉めて出ていく母親は、いつも泣きの涙であった。
(恩師財団母子愛育会 1975年)

1942年 第二次世界大戦に突入 戦時託児所の規定
防空壕で泣く赤ん坊は……

2020/9/3

9

<昭和という時代に起こったこと>

- ・1975年を境に家計における教育費の割合、小中学校生の塾通いが急増
- ・1980年代は、産業、就業構造が大きく変わった

↓

**早期教育を含めた教育ブームの幕開け
子どもの遊びの変化**

↓

同調圧力 (仲間と同じ出なければいけない)
人間関係のフラット化
若者のコミュニケーション力の低下

2020/9/3

10

保育者や教師の親へのまなざし

親なんだから当たり前
親なのに
親があんなだから……

2020/9/3

11

◆ ヒトのアロマザリングが進化した理由
ヒトは他者の心に敏感な動物
として進化してきた存在

↓

○ヒトの心的特性を十分機能させ、進化の過程で
選択してきたアロマザリングを子育てに生かすこと
が
現代に生きるホモ・サピエンスが直面している生存
課題

○共感

2020/9/3 (『ヒト

12

『おもいどおりになんて育たない』
 The Gardener and the Carpenter
 What the New Science of Child Development Tells Us About the Relationship
 Between Parents and Children
 反ペアレンティングの科学
 アリソン・ゴブニック 著 渡会圭子 訳 森口佑介 解説 より

ペアレンティングに異議

- ・ペアレンティングは、ごく最近の文化的発明。好ましい、便利なものかもしれないが、うまくやるには、きわめて難しく、わずかな効果しかなくても、やってみる価値があると感じるかもしれない。
- ・ペアレンティングはたちの悪い発明。子どもと親の生活をよくしていない。子どもを立派に育てようとするあまり、常に心配が尽きず、罪悪感と不満を抱え込むことに。
- ・ペアレンティングの本が山ほど売られているアメリカの乳幼児死亡率と子どもの貧困は先進国最高。
- ・ペアレンティングの規範が人気なのは、科学的な真実とは言えない。
- ・人との関係は重要。しかし、世話をする人の役割は、次の世代を担う人間に安全なスペースを提供すること。

2020/9/3

13

コロナのおかげのお話し
現代の面白い大人たちの子ども時代

★光吉俊二 氏 (1965年生まれ：科学者、数学者、彫刻家、武道家)

1 ÷ 2 = ½? 数量ではなく行為
 誰も自分の見えていることが見えていない!と荒れた。数学が教った。

全くの等分はない

🍷 ÷ 2 = 🍷

★田口一成 氏 (1980年生 早稲田大学卒 社会起業家：年商50億)

幼稚園時代はみんなと同じことができなかった
 父親に強くなれと頑張らされた ⇒ Better than Better
 子どものころから世の中の為に何かしたいと考えていた⇒ハチドリ電力

2020/9/3

14

「いきもの」としての人をみるまなざし

いい子って?

2020/9/3

15

『いのち愛づる姫』

中村桂子・山崎陽子
 堀文子 絵作
 藤原書店

いのち愛づる姫
 中村桂子・山崎陽子 作
 堀文子 画

2020/9/3

16

『いのち愛づる姫』
 中村桂子・山崎陽子 : 作 堀 文子 : 絵 藤原書店2007年

解説より (中村桂子: 理学博士)

(前略) 侍女など周囲の人は、「そんな汚いものを」と逃げまわりますし、両親は、「これではお嫁にいけないのではないかと心配します。けれども、このお姫様は動じません。先に挙げた言葉で、みんなに問いかけます。「毛虫をじっと見ていると、あなたが美しいという蝶になるのです。あなた方は、花や蝶を美しいというけれど、これらははかないものでしょう。生きる本質は毛虫の方にあり、時間をかけて見ているととても愛しくなる。これがわからないの」と。

愛づるは、美しいから愛するとか、自分の好みのままに好きになるという愛ではなく、時間をかけて本質を見出した時に生まれる愛であり、知的な面があります。philosophyは「哲学」とされましたが、そのまま訳せば「愛知」。この時のphilo-がまさに「愛づる」でしょう。(中略) あるがままをよしとし、小さな生きものが懸命に生きる姿を見つめ、それを「愛づる」ことは生き物を知る基本でしょう。

2020/9/3

17



たくさんの困った状況がありますが、
 周囲のせいせずに、
 とりあえず、今の自分にできることを
 考えてみたいですね。

その一番の近道が
 自分自身の子どもへのまなざしの確認
 と振り返りです。

2020/9/3

18

驚く心

おや、こんなところに芽がふいている。
 鳥には、小さい豆の若葉が、
 えらい勢いで土の塊を持ち上げている。
 藪には、固い地面をひび割らせて、
 ぐんぐん筍が突き出してくる。
 伸びゆく蔓の、なんとという迅さだ。
 竹になる勢いの、なんとという、
 すさまじさだ。

おや、この子に、こんな力が……。
 あっ、あの子に、そんな力が……。
 驚く人であることに於て、
 教育者は詩人と同じだ。
 驚く心が失せた時、
 詩も教育も、
 形だけが美しい殻になる。



『育ての心(上巻)』 倉橋惣三 フレーベル館

2020/9/3

19

ある園の保育者が子どもに向けることは



2020/9/3

20

保育者の子どもに向けることばは**ポジティブ**で温かく

2020/9/3

21

共感性には、

- 「共感的関心」・・・目の前で困っている人に声をかける
- 「他者視点」・・・相手の立場でものを見る
- 「共感的苦痛」・・・相手が痛がっていると自分も痛くなる

西澤 哲（山梨県立大学福祉学部教授）によると
*東京都立保育園研究会広報251号「子どもの虐待」—子どもへの心理的影響の理解と支援—参照

2020/9/3

22

この園の保育者が子どもに向けることばには・・・

2020/9/3

23

<国連の「子どもの権利」という視点で保育を考えると>

- ・受動的権利
義務を負うべきものから保護や援助を受けることによって効力を持つ権利
→ **子どもが求めていることを的確に捉えて満たす大人の義務**
- ・能動的権利
人間として主張し行使する自由を得ることによって効力を持つ権利
→ **「ヤダ!」は一人の人間としてのスタートのチャンス**

↓

大人が一方向的に決めるものではなく子ども自身が判断すること
「主観的確信」

2020/9/3

24

私たちが願う人間像

**「折れない心を持つ
情緒が安定した幸せな大人」**

↓

**逆境から立ち直る力（レジリエンス）が育つには
自分を応援する気持ちや内側から湧き上がる意欲が大事**

内的統制型・・・人生や身に起こる出来事をコントロールする力が
自分にあると信じている

外的統制型・・・人生、環境、運命によってコントロールされているから
自分では変えにくいと信じている

↓

外的統制型は、うつ症状が出やすい。アメリカでは無力感がどんどん低年齢化して
きている

2020/9/3

25

子どもが
困った大人に
困らせられている時代

2020/9/3

26

保育で救うことができる

2020/9/3

27

Aくんの場合

◎入園当初 1歳9か月
「だめでしょ!」「いけません!」「あっちいて!」
と否定的な言葉が多く、トラブル多発。
他児のおもちゃを取ったり、壊したり、言いつけに來たり・・・

2020/9/3

28

入園2か月くらいからポジティブな表現が多くなり、柔軟で意欲的に。

◎2歳11か月

「いいこと考えた。いいこと思いついた。
こうすればいいんじゃない。」

「〇〇が好きで好きでたまらないんだよ〜」

◎3歳4か月

「ぼくにまかせといて」

「たのしいことばかりだなあ」

「まずは、こうして、こうすればできるよ！」

2020/9/3

29

保育者が思いを受け止め、
ていねいに関わっていくと

安定し、大人の顔色をみなくなった。

一人遊びに没頭するようになり

工夫、調整、検証、など

豊かな学びのある遊びをするようになった

トラブルも減って
共感的な言葉が増えた

2020/9/3

30

子どもの才能と個性を切り拓く教育とは

経験の連続性と相互作用

ジョン・デューイ (アメリカの哲学者)
『経験と教育』市村尚久 訳
2004年10月 講談社より

2020/9/3

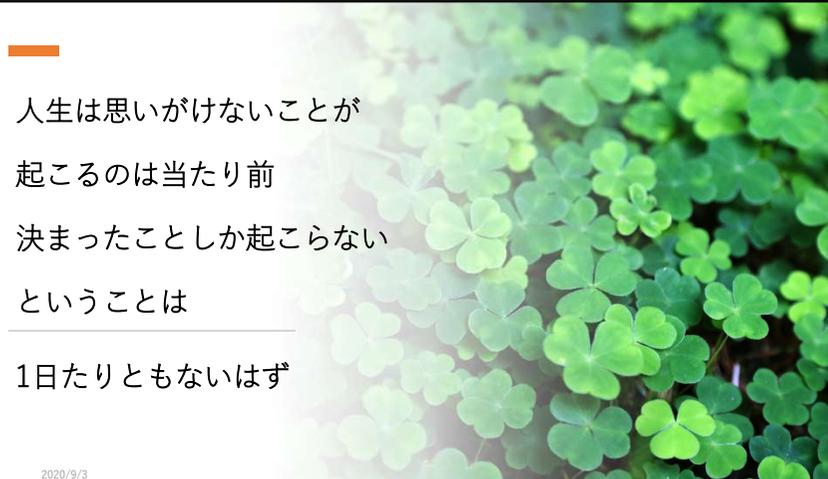
31

ある夏の

スイカ事件

2020/9/3

32



人生は思いがけないことが
起こるのは当たり前
決まったことしか起こらない
ということは

1日たりともないはず

2020/9/3

33

特に人生の始まりの乳児期は
毎日、初めてのことの連続

教えることよりも、安心と安全で包み込む環境が重要

2020/9/3

34

知的な『目から鱗』よりも感情的、感覚的な『目から鱗』が大事

「感情教育」、「感情の民主化」の必要性

↓

臨界年齢がある

感情は3歳までに育つ
人間関係ホルモンのオキシトシンは1歳

自分の思いを自然に表現できることが
学ぶ意欲や生きる意欲につながる

2020/9/3

35

『保育者の地平』 津守 真 著 (ミネルヴァ書房)
より

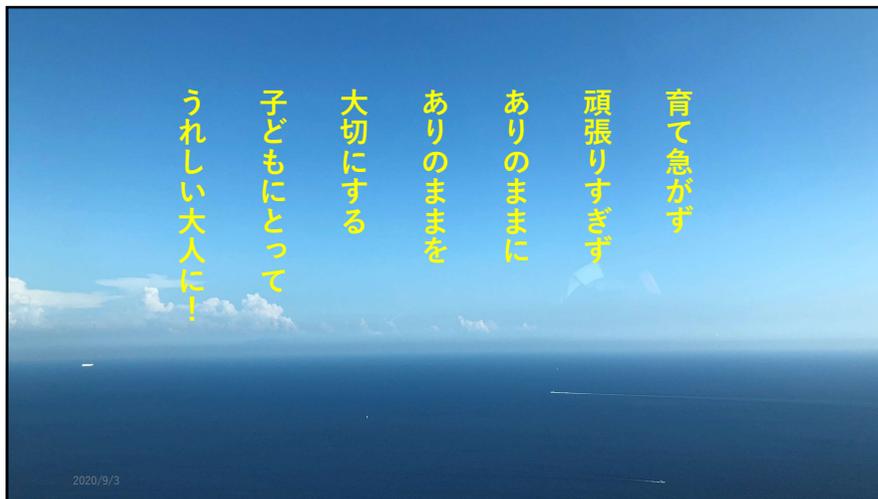
保育の知

1. 子どもと深いところがかかわる
浅いところがかかわるときは、大人の側の枠から一方的に子どもを評価しがちである。そのときにはこどもの心の深みにある願いや悩みにまで保育者のアンテナが届かない。(略)
2. 保育者は子どもとかわるたびに自分を新しくする
保育者は子どもとかわるとき、それまでの自分を転回させて、新しい自分となって子どもにむきあう。そうでないと、それまでの自分にひきずられて、自分とは異なる子どもとかわることはできない。(略)
3. 保育者は、前向きに、関わりを継続し、新しい関係を創造する
このことを自覚していないと、子どもとのかかわりは停滞しよんでしまう。(略)
4. それぞれの子どものあるがままを認め、そのあるがままとかわる
大人の期待や価値基準とは違っても、それぞれの子どもが自分らしく生きることを認め、さらにその子どもとやりとりする。子どものそのまを否定してかわるのと、肯定してかわるのでは、保育者と子どもの関係はまるで違ったものになる。(略)

**「保育は、子ども自身の中に
湧きいづる思いを生み出す仕事である。」**

2020/9/3

36



育て急がず
頑張りすぎず
ありのままに
ありのままを
大切に
子どもにとって
うれしい大人に！

2020/9/3